

## 出題傾向別③ 資料を読み取つて意見を書く作文

## 11 出題傾向別③ 資料を読み取つて意見を書く作文

**1** 我が国の総人口に占める六十五歳以上の人口の割合（高齢化率）は年々上昇しており、内閣府の「平成29年版高齢社会白書」によると、二十七・三（パー）セントに達している。このことを踏まえ、次の資料I及び資料IIを参考にしながら、後の【条件】に従つて、作文を書きなさい。

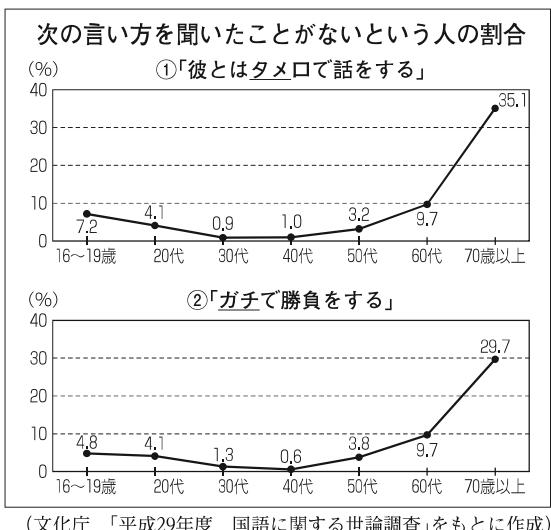
資料I

### 高齢者の世代間交流

高齢者の若い世代との交流への参加意向についてみると、参加したいと考える人の割合（「積極的に参加したい」、「できるかぎり参加したい」と回答した人の合計）は平成二十五年で五十九・九パーセントとなり、十年前（平成十五年）に比べると七・二（ポイント）増加している。

（内閣府「平成29年版高齢社会白書」による）

資料II



（鹿児島）

- ステップ1** 必要な要素をまとめて、次の思考整理シートを完成させなさい。
- (1) 必要な要素をまとめて、次の思考整理シートを完成させなさい。

### 思考整理シート

#### ☆第一段落

##### 読み取ったこと

- ・資料Iから読み取ったこと

##### ☆第一段落

##### 心がけたいこと

- ・補強となる理由や考察など



▼整理した要素を、説得力のある作文になるようにつなげる。

- ① 二段落で構成すること。
- ② 第一段落には、資料I及び資料IIからあなたが読み取ったことを書くこと。
- ③ 第二段落には、第一段落を踏まえて、あなたが高齢者とコミュニケーションをとる際にどのようなことを心がけたいかについて、具体的に書くこと。
- ④ 百二十字以上百六十字以下で書くこと。
- ⑤ 原稿用紙の正しい使い方に従つて、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

ステップ2

## ステップ2 思考整理シートをもとに作文を書く

160 120

120

条件

## 見直しチェックポイント

- 第二段落構成になつてゐるか。
  - 第一段落には、資料Ⅰと資料Ⅱから読み取つたことが書けているか。
  - 高齢者とコミュニケーションをとる際に心がけたいことについて具体的に書けているか。
  - 百二十字以上百六十字以下で書けているか。
  - 自分の意見がはつきりと書けているか。
  - 意見の理由根拠が筋道立てて説明できているか。
  - 正しい表記と文法で書けているか。
  - 誤字・脱字はないか。
  - 主語と述語が対応しているか。
  - 修飾語は適切に使われているか。
  - 正しい書き言葉が使われているか。
  - 接続語は正しく使われているか。
  - 文体は、常体または敬体で統一されているか。
  - 正しい原稿用紙の使い方ができているか。
  - 書き出しや段落の初めは一字下げているか。  
ふりごう
  - 句読点や符号は一マス使っているか。
  - 句読点や閉じるかぎかっこが行頭にくる場合は、前の行末に入れているか。
  - 数字は漢数字を使つてゐるか。
  - 伝わりやすく、説得力のある作文が書けているか。
  - 複数の資料から内容を客観的に読み取れていらか。